

資源循環産業の発展へ

法改正の内容を国に提案

全国産業廃棄物連合会

(公社)全国産業廃棄物連合会は6月12日、都内で定時総会と懇親会を開催した。石井邦夫会長は「われわれの産業は適正処理だけでなく、資源循環の産業に大きく変貌している。資源循環の事業を発展させるためには、規則的な手法だけでは無理がある」としつつ、廃棄物処理法の改正について「これからの時代によさわしい内容を国に提案していく」と述べた。

懇親会には望月義夫環境相、甘利明経済再生担当相、竹下巨復興相らが駆け付けた。望月環境相は「各地域の経済回復の観点におい

ても、環境産業を通して雇用創出や新しい産業が生まれる。元氣よくこの仕事に取り組んでもらいたい」とあいさつした。

甘利経済再生担当相は「人間の身体同様、環境に貢献する仕事なので、誇りを持って取り組んでほしい」とエールを送った。

定時総会では昨年度の事業報告と決算案を承認した。今年度の事業計画については適正処理の推進、地球温暖化対策、人材・優良事業者の育成に取り組むことなどを決定した。



望月義夫環境相



石井邦夫会長



竹下巨復興相



甘利明経済再生担当相